

■ 都農町立都農東小学校

開催日：令和5年12月7日（木）10時00分～10時45分

受講者：6年生 14名

講師：大館 真晴 氏

・ 応募のきっかけ

⇒職員が過去の勤務校で聴講したことがあり、非常に良い授業だったため、本校の児童にも受けてもらいたいとのことで応募した。今年から、地元につながる「奴踊」を継承していこうと地域の人に教えてもらっているのもあり、この授業で児童達が、より地元のことを知ったり、興味を持ったりするきっかけになればと考えている。



・ 「延喜式」という法典に記載された神社は「式内社」と言われ、格式ある神社とされているが、地元の人が「都農神社」のことを「一之宮（いちのみや）神社」と呼んでいるのは、その格式が一番高い神社として都農神社が記載されていたからであるとのこと。

・ 都農駅の近くに「去飛の駅（こひのうまや）」という駅で利用されていた、と伝言がある井戸が残されており、今も昔も都農は人々の往来に重要な場所であったことがわかります、とのこと。



・ 推古天皇が「馬ならば日向の駒」と詠まれたことが日本書紀に記されているほど都農は馬の生産の評判が良く、牧場として有名であった。その牧場の守護神として祀られているのが「都農牧神社」（都農ワイナリーの近く）であるとのこと。

・ 児童達にとって身近な場所が、古くから地元の人々が大事に受け継ぎ、守ってきた場所であることがよくわかる授業でした。

・ 児童の感想

⇒ ・ もっと地元のことを誇りに思おうと思った。

・ 歴史は、知れば知るほど面白いと思った。

・ 先生のお話がとても聞きやすく、クイズを出してもらえたのも面白かった。